

エミネンス リフォームフローア-施工説明書

※この商品は一般住宅およびそれに準じる居住施設の屋内専用です。
他の用途へのご使用はおやめください。屋外および浴室内部など頻繁に水分と接するところには使用しないでください。



- 施工説明書をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。
特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。
- 施工説明書に記載されていない方法や、指定の接着剤を使用しない方法で施工されたことにより不具合や損害が生じたときには、当社では責任を負いかねます。
- この商品は日本国内専用品ですので、日本国外での設置はしないでください。
- 梱包材や残材は、法律に従って適切に処理してください。
- 取扱説明書は必ずお客様にお渡ししてください。（施工完了後、使い方を説明してください）

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

⚠ 注意

| | | | |
|---|--|---|---|
|  必ず守る | カッターナイフを使用して作業する際は、手などを切らないように注意する けがのおそれがあります。 |  必ず守る | 下地との接着には必ず指定の専用接着剤（EPシングルウレタン低臭α）を使用する 使用しないと、はがれ・突き上げ・反りなどの原因となり、けがのおそれがあります。 |
|---|--|---|---|

製品仕様

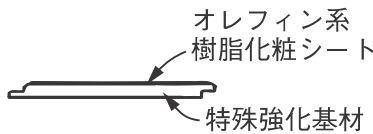
〔寸法単位：mm〕

| | |
|------|------------------------------|
| 品名 | エミネンスリフォームフローア- |
| 梱包枚数 | 24枚/ケース (3.3m ²) |
| 寸法 | 長さ909×幅151.5×厚さ1.5 |

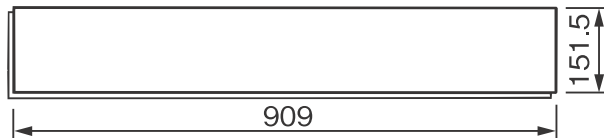
■施工に必要なもの

- ・接着剤：EPシングルウレタン低臭α
（シンコール 容量16kg、5kg）
- ・下地補修剤：フロアシール（シンコール株式会社）
アースタック（ヤヨイ化学工業）

■断面図



■寸法図



施工上のご注意

- この商品は既存の木質床材に直接施工するリフォーム用床材です。表面が平滑な木質床材に施工可能です。表面に凹凸のあるもの、クッション性があるものには施工できませんのでご注意ください。
（例：クッションフローア-、カーペット、防音フローア-、畳）
また、2重床や上貼りタイプのリフォームフローア-の上には施工できません。
- 床暖房の上には施工できません。
- 土足で使用する場所への施工はお避けください。
- 下地が腐朽していたり、はく離がある場合は下地材を貼り替えてください。
- 欠けたり折れたりしやすいので、取り扱いには十分ご注意ください。また、開封後、商品を立て掛けたりしないでください。欠けや曲がり防止のため、必ず平らな場所で保管してください。
- この商品は専用接着剤で施工します。さね部へのくぎ打ちは行わないでください。
- 床本来の目的以外のご使用はお避けください。

7 施工前の準備

1 施工に必要な工具の確認

・カッターナイフ ・定規 ・カンナ ・サンドペーパー ・床用養生テープ

※下地材の状態によっては下地補修剤やワックスクリーナーなどが必要になる場合があります。

2 下地材の確認および調整

●下地の平滑性

下地に段差や凹凸がある



段差や凹凸を補修剤でできるだけ平滑に調整してください



※推奨補修剤：

フロアシール(シンコール株式会社)
アースタック(ヤヨイ化学工業)
下地に不陸があると仕上がりに影響が出ますのでご注意ください。

●きしみ・踏み鳴り

既存床にきしみや踏み鳴りがないことを確認してください。

きしみや踏み鳴りがある場合は、くぎ打ちなどで事前に補修を行ってください。

くぎ打ちをしても直らない場合は、下地の交換が必要です。

エミネンスリフォームフローアを施工してもきしみや踏み鳴りの解消にはなりませんのでご注意ください。

●下地表面

既存床にワックスが塗られている場合、汚れが付着している場合は接着不良の原因となりますので、市販のワックスクリーナーの説明書に従って、ワックスや汚れを除去してください。

●下地の乾燥

既存床に濡れや湿りがある場合は、しっかり乾燥させてから施工を行ってください。

2 施工のしかた

[寸法単位：mm]

1 割り付け・墨打ち

この商品にはさねがありますので、貼り込みは基準線からの片押し施工となります。

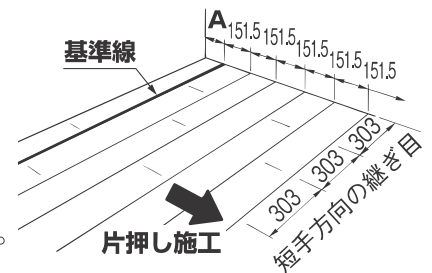
- 割り付けに際しては、壁際や出入口などの納まりを考慮し、まず貼出しとなる基準線を設定してください。

【ポイント】

下地フローリングの目地とリフォームフローアの目地が重ならないように割り付けを行ってください。

(既存目地をリフォームフローア目地がまたぐ割り付けを推奨します。)

- 玄関・廊下と居室が続く場所に施工するときは、特に割り付けにご注意ください。
- 短手方向の継ぎ目は、1尺(303mm)ずらしか、乱貼りのどちらかとしませんが、目地が近すぎないように、小さい切り物が入らないように割り付けを行ってください。



2 接着剤塗布

エミネスリフォームフロアーの施工には必ず専用の接着剤、付属のくし目ごてを使用してください。

| 専用接着剤 | タイプ | 容量 | メーカー |
|---------------|-------------|----------|-----------|
| EPシングルウレタン低臭α | (低臭)ウレタン樹脂系 | 5kg、16kg | シンコール株式会社 |

※専用の接着剤以外をご使用になられて生じた不具合につきましては、原因究明ができないためご相談には応じられません。
 ※従来の床用溶剤型ウレタン系接着剤は材料の反りを発生させるおそれがあります。

EPシングルウレタン低臭はリフォームに適した臭いの少ない接着剤で、従来の溶剤型ウレタン系とは性質が異なります。接着剤の表面が乾くと、接着できなくなりますのでご注意ください。

【使用方法】

- 接着剤は付属の専用くし目ごてを用いて適量 (300~350g/m²) を均一に塗布し所定のオープンタイムをお取りください。
- 一度に塗布する面積は、貼り付け可能時間内に施工できる範囲としてください。
- 壁際まわりの塗布は3mm以上の空白を残さないように塗布してください。
 また、この部分はオーバータイムになりやすいので注意してください。
- 塗布後、接着剤に粘りが出たら床材を貼り合わせてください。高温多湿の条件では皮張りが早くなるのでご注意ください。
 貼り付け可能時間が過ぎた箇所は接着剤を除去し、新たに接着剤を塗布してください。

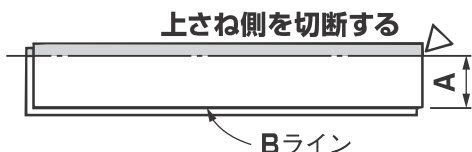
| 季節(気温) | 待ち時間 | 貼り付け可能時間(待ち時間後) |
|------------------|---------|-----------------|
| 夏(25℃~35℃) | 20分~30分 | 約30分 |
| 春・秋(15℃~25℃) | 30分~40分 | 約40分 |
| 冬(10℃~15℃)※冬用を使用 | 20分~30分 | 約30分 |

上記時間は下地の含水率や施工条件により変わることがありますので、実際には指触にてオープンタイムを確認してください。

- 床材の貼り付け後、十分にローラーで圧着してください。壁際や細かい所はハンドローラーで十分に圧着してください。
 湿気と反応して発生するガスなどによるふくれを防止するために、接着剤が固まるまで数回押さえてください。
 ※低温時(室温10℃以下)での施工は、接着剤の硬化に時間がかかり接着剤が目地よりはみ出しやすくなります。
 必ず10℃以上の一定の温度で施工してください。

3 貼り始め

1. 割り付けの基準線に従い、1列目の床材を(A寸法)に切断する。
 壁面や枠回りとの取り合いは、すき間が生じないように巾定規を用いてけがいてください。
 床材がずれやすい場合は、床材同士を養生テープで固定するか、下地に両面テープなどで仮止めしてください。



切断のしかた

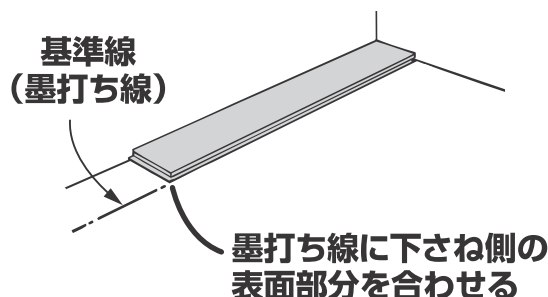
1. カッターナイフで切れ目を入れる。

2. 切れ目を曲げて折る。

3. カンナ・サンドペーパーで面取りする。

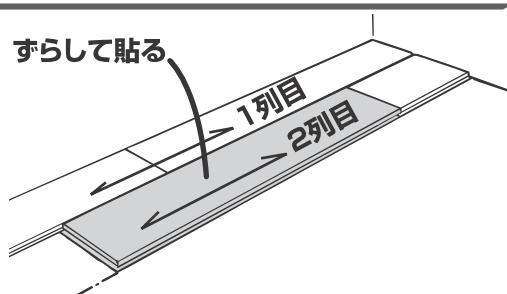
2. 貼り始め1列分を基準線(墨打ち線)に合わせて貼る。
 墨打ち線に下さね側の表面部分(Bライン)を合わせてください。

注意 床材と接着剤の間にごみが入り込まないように注意してください。
 フロアーの浮き、目違いの原因となります。



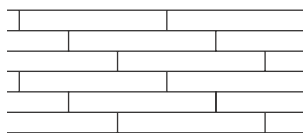
4 2列目以降の貼り付け

1. 短手継ぎ目が1列目と同じ位置にこないように、1尺ずらしや乱貼りにしてください。
 短手の継ぎ目が近い場合、目すきが発生した場合に目立ちやすくなります。
2. 貼るときはさねの重なりや浮きがないことを確認しながら進めてください。
 接着剤のオープンタイムが不足の場合、フロアーがずれ、さねが重なりやすくなります。
 また目地から接着剤がはみ出すことがありますので、ご注意ください。

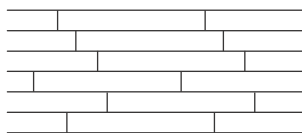


■貼り方例

〈一尺ずらし貼り〉

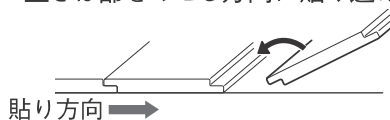


〈乱貼り〉



■貼り方向

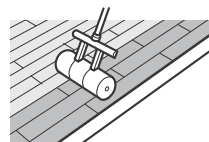
目地部から接着剤のはみ出しを防ぐために、下さね部に上さね部をのせる方向に貼り進めてください。



注意

- この製品は突き上げ防止のため、目地に少しすき間ができるようになっています。タイルを貼り進める時は無理に押し込まず、少し余裕を持たせながら貼り込んでください。特に壁際の納めはきつく入れますと突き上げが起こる可能性がありますので、貼りじまいなど無理に入れ込まないようにしてください。
- ハンマーなどで無理にたたき込んだり、足でけったりしないでください。

3. 施工後はリノリウムローラーで十分に圧着を行ってください。壁際やコーナー部など細かい箇所はハンドローラーで十分に圧着してください。



4. 壁や幅木の取り合い部にすき間が生じた場合は、必要に応じてコーキング処理を行ってください。

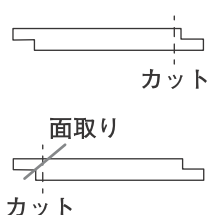
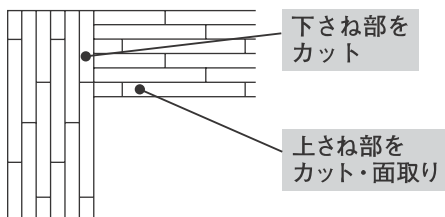
- ・壁際用コーキング：アースコーク(ヤヨイ化学工業) カラーライト(関西フェルト)

〈コーキング色対照表〉

| フローラー色番 | アースコーク色番 | カラーライト色番 |
|---------|----------|----------|
| RF-01 | アイボリー | AB13 |
| RF-02 | ライトベージュ | AB15 |
| RF-03 | ベージュオレンジ | BA14 |
| RF-04 | ライトオーク | AA04 |
| RF-05 | ライトアンバー | DE10 |

フローリングの流れを変える場合の注意事項

エミネンスリフォームフローラーは目地部分の納まりを考慮すると同じ向きで施工を行うのが望ましいですが、施工場所によっては下図のように流れを変えた方が納まりがきれいになる場合があります。フローリングの流れを変えて施工を行う場合は、下記にご注意ください。



流れが変わる部分では、どちらもさねを落としてフローリング同士を突き付けにして納めてください。上さねが残り、下さねがない状態で張り合わせますと接着不良、浮きの原因となります。

5 仕上げ

施工後はフローリングの目違い、すき、浮き、汚れなどの不具合がないか点検を行い、不具合がある場合は処理を行ってください。施工中に付着した汚れは、速やかに硬く絞った雑巾などでふき取ってください。また、目地からはみ出した接着剤はアルコールなどを布に含ませふき取りますが、最後に硬く絞った雑巾などでふき、むらが残らないように再度ふき取ってください。ふき取りの際に強くこすると、表面の光沢変化が起こる場合がありますのでご注意ください。光沢変化はワックスをかけていただくことで、目立ちにくくすることが可能です。

6 養生

施工後は傷や汚れを防ぐために、ビニールシート・発泡シートなどの養生シートを敷き込んでください。さらに、その上に段ボールや合板を敷いて、十分に養生してください。

注意

- 接着剤が完全に硬化するまでは(24時間以上)、室温を一定に保ってください。
- 接着剤が硬化するまでできるだけ通行を避け、重量物の設置や移動は行わないでください。
- 養生テープは床用養生テープを使用してください。ガムテープや両面テープを使用されますと、床材表面のはがれや変色が起こる場合があります。
- 直射日光が当たる場所や、外部からの雨水が吹き込むおそれのある場所では、製品の劣化が促進されます。直射日光をさえぎったり、雨水が吹き込まないように十分注意してください。
- 養生中に雨水やペンキなどが養生シートにかからないように注意してください。しみ込みにより、床材表面に汚染、膨れなどが生じることがあります。
- 養生シートは必ず床全体を覆ってください。養生シートで覆われていない部分に変色する場合があります。